

第三回研究会記事（特集）

活用していただければ幸いです。

共通課題「村落社会の変化に対する推進力」に関する研究会は既に第三回を迎え、六月二八日、午後五時半より九時まで、本郷学士会館で行われました。報告者は、総研の川口諦会員にお願いました。東大・東教大とも学内騒動の渦中にあるなど各大学とも同様の問題をかかえ込んでいる最中でありましたので、第一・二回の研究会における報告者の出席がえられなかったことなどはあっても、久々に総研より内山政照、川口諦両会員の出席もあって新鮮な議論の展開をみました。当日の出席者は、両氏の他に、阿部とし子、中野芳彦、中野三郎、田野崎昭夫、高山隆三、川本彰、斉藤孝、大沢敏子、熊谷苑子、民秋晋、北原竜二、柿崎京一、中野卓などの諸会員で、活潑な討論が行われました。

その時の模様を討論に至るまで記事にする事は経費の関係上割愛せざるをえませんでした。以下、報告のほぼ全貌を、報告者の原稿をもとにして、民秋会員により当日の報告内容を伝えるよりアレンジして頂きました。

以上、第一回（通信六一号）第二回（通信六二号）および本号所収第三回研究会をもつて、大会前における共通課題の研究計画をほぼ達成しえたものと考えます。来る一〇月二二・二三両日における大会討論に際して、三回に亘る研究会の積み上げが例年にみなかったこの試みの成果を生むことを期待して止みません。大会参加者各位は、研究通信第六一―三号を御持参し、討論席上においても